

① 品種特性

- 交配：「千秋」に「シナノレッド」の花粉を交配して育成した実生から選抜
- 育成地：長野県果樹試験場
- 収穫期：8月中下旬。＊満開後100～110日目安
- 果形：扁円形（横長タイプ）
- 果実重：300g前後 ⇒ 36玉中心
- 果皮色：紫紅色でブルームが付いているのが特徴。真夏の高温下でも着色良好。
- 糖度：14～15%と高く、食味は甘み・酸味のバランスが良い。
- 果肉：淡い黄色で、やや柔らかい。
- 貯蔵性：常温で1週間程度。冷蔵で4週間程度。
- 遺伝子型：S1S3
- 交雑和合性：ふじ・つがるとは和合性。秋映・ゴールドとは不和合性。
- **黒星病に弱い。**
- サビの発生は無～僅か。内部褐変の発生もない。収穫前落果の発生は無～僅か。
- 若木時代の樹勢は強。**花芽の着生はやや少ない～少ない。**開花期間が長い



② 収穫前管理について

- **落果防止剤散布：不要** ⇒ 飛散した場合（特にストッポール液剤）、果肉硬度低下早く、着色不良・食味不良・日持ち性低下等の影響が出る。
- 葉摘み
通常、梅雨明け後(7月中下旬)果実に触れている葉を摘み、2回目の葉摘みは収穫7日前頃に日光がよく当たるように果実周辺の葉をとる。同時に、玉回しも行う。日焼け発生のリスクを避けるため、果皮温度の低い時間に行わない。
- 防鳥、野蛾防止：防鳥、野蛾防止ネットを被覆するなどして防止する。

③ 収穫について

- 1回で全収穫は行わない ＊開花期が長いいため必ず生育にバラつきが出る
- 必ず3回に分けて収穫を行う。

④ 苗木販売について

- 種苗登録品種である。増殖にあたっては最低苗木を1本購入してから、穂木等を採取し増殖する。
- 苗木予想価格：2,160円/1本（長野県内優先販売中）
- 2年生苗木予想価格：2,500円（2019 9/17 注文書配布予定）



⑤ 中野市内導入状況：別紙参照

- 更新対象：つがる、千秋、もも早生種等。
- H27 秋試験導入開始 ⇒ H28 部会を通じて本格導入開始 ⇒ 2019 末で苗木約1,000本（5ha分）導入見込み

注意！芯カビ果の除去について

右下写真は 7/23 に確認できた芯カビ果と推測される果実。早期に地色が抜ける。収穫期には真っ黄色になり落果することも多い。芯カビの可能性があるので、早めに中身を確認する。芯カビの発生が多い場合、早期成熟のものは早めに除去する。



⑥ 収穫適期の目安

着色が先行するため、果皮色の変化だけで収穫期を判断しない。果実の地色が黄緑から黄色になる中間が適期。地色の黄色みが強くなってしまうと、過熟となる。(左下の写真では 4~5 が適熟となります。)



↑ 2019 8/19 岩井

丸部分が適熟 右端やや過熟

⑦ 参考：成熟調査結果 2019 *3 果採取し調査を行った。

着色 1：微 2：淡 3：中 4：濃 5：極濃

8/16 小田中新わい化 3 年生

8/16 更科 4 年生樹

8/19 岩井高接ぎ 5 年生樹

果実重	332g
糖度	13.5Brix%
硬度	13.6P
	11.6P
着色	2.0
ヨード	1.5

果実重	328g
糖度	13.2Brix%
硬度	15.1P
	14.3P
着色	2.2
ヨード	2.5

果実重	367g
糖度	15.3Brix%
硬度	13.9P
	13.7P
着色	3.3
ヨード	2.8

↓ 2019 8/19 岩井 収穫前



↓ 2019 7/23 岩井 未熟

